

～いの町地域雇用創造協議会・地域雇用創造推進事業～

【「農のもてなし」「山の技」養成講座】いの町の農業を体験して考える講座

「農業」や「食」について考えを深めてもらおうと、5月8日刈谷農園の水田で「田植え体験」が行われました。

田植え体験には、いの町の方をはじめ高知市、四万十市、遠くは愛媛県から、幼児～60歳までの総勢30名の参加がありました。当日は天候にも恵まれ、子どもたちや、農業経験者また、全くの未経験者たちが、素足で田んぼに入り懸命にコシヒカリの苗を植えていました。

終了後には、刈谷さん(刈谷農園)、神戸からの1ターンの敏森さん、一圓さん(一圓農場)たちと参加者を交えて農業を通じた、地域・食生活についての意見交流会が行われ、食の役割、農業の楽しさを教えていただきました。

8月下旬には、稲刈りを行い収穫の喜びを教えてください。



田植え

【「いこいの」観光・交流サポーター養成塾

ラフティングインストラクター養成講習会開講中】

今年の夏、仁淀川でも「ラフティングツアー」が始まります。いの町地域雇用創造協議会では、ラフティングインストラクター養成講習会を行っています。

ラフティングガイドの第一人者高田俊平さんに、ラフティングツアーガイドの技術と技能を基礎から学ぶ講習会です。

体力に自信があって川遊びが好きな方、人を楽しませることが好きな方、そして、仁淀川が好きな方、是非ご参加ください。



ラフティング

☆受講は原則無料です。求職者、個人やグループで特産品作りなどによる起業を目指す方はもちろん、在職中の方も受講できます。多くのご参加をお待ちしています。

申込・問い合わせ

いの町地域雇用創造協議会(会長 いの町長)

〒781-2110 いの町1700-1 役場産業経済課2階

☎ 897-2211 ☎ 897-2210 📠 ホームページ: <http://www.inokoyo.jp/>

✉ e-mail: inokoyo@shore.ocn.ne.jp

☎ 電話かFAX又はメールでお申し込みください。

シートベルトは大切な命を守ります

いの警察署 ☎ 893-1234

事故時の衝撃は、手足では支えきれません。シートベルト非着用の場合、けがの程度も着用時と比べて重くなります。

特に後部座席での非着用は、衝突のはずみで車外に放出される危険性が高いだけでなく、前席の乗員を押しつぶすなどして、重大な傷害を与えることがあります。

また、シートベルトやチャイルドシートの誤った着用方法は、事故の衝撃で致命傷を負う危険がありますので、正しく着用しましょう。

■前席はもちろん、後部座席でのシートベルト着用、6歳未満の幼児を乗せて自動車を運転する場合、チャイルドシートの使用は義務化されています。

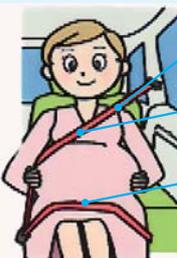
シートベルトの正しい着用方法



- シートの背は倒さずに、シートに深く腰かける。
- 体を斜めにせず正しい姿勢をとる。
- 肩ベルト(3点式ベルトの場合)は、首にかからないようにする。また、肩ベルトがたるまないようにする。
- ベルトがねじれないようにする。
- バックルの金具は確実に差し込むようにする。
- 腰ベルトは骨盤を巻くように、しっかり締める。

妊娠中のシートベルト着用方法

シートベルトを正しく着用することにより、交通事故の被害から母体や胎児を守ることができます。ただし健康保持上、シートベルトの着用が適当かどうかを医師に確認しましょう。



- 腰ベルト・肩ベルト共に着用する。
- 肩ベルトは首にかからないようにする。
- 肩ベルトは胸の間を通し、腹部の側面に通す。
- 腰ベルトは腹部のふくらみを避け、腰骨のできるだけ低い位置を通す。

チャイルドシートの使用法

6歳未満の子どもの車を乗せる場合は、必ずチャイルドシートを取扱説明書などに従って、正しく使用しましょう。事故の被害を軽減するほか、子どもが運転操作を妨げることを防止できます。



※やむを得ず助手席に設置する場合は、座席をできるだけ後ろに下げ、前向きに固定する。

- 子どもの体格に合うものを使用する。
- なるべく後部座席で使用する。(助手席エアバッグ装備の場合)
- 座席に確実に固定する。